

2009年12月3日

様々な業種に特化した中小規模企業向けクラウドサービスを開始

仮想PC、アプリケーション、携帯電話との連携機能、サポートデスクをワンパックで提供

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、様々な業種に特化し、必要なPC環境、アプリケーション、携帯電話との連携機能、サポートデスクをパックにした中小規模企業（以下 SMB）向けクラウドサービスを、2010年1月より開始いたします。

近年の長引く景気低迷の影響により、企業を取り巻く経営環境は大きく変化し、SMBでは、よりスピーディーな経営判断とコスト削減が求められています。こうした背景から、日立情報は強みとする仮想化技術、SaaS構築技術、データセンタ運用技術などを活用し、様々な業種に特化したクラウド型のサービスを開始し、SMBの業務に必要なIT環境を低コスト・短期間で提供します。

本サービスは、特定の業務に必要なITインフラ一式を低コスト・短期間で提供するクラウド型のサービスです。SMBの事業・業務に適した各種アプリケーションを仮想PCにバンドルし、バックアップ、バージョンアップ、セキュリティ対策などのメンテナンスサービスも加えて、業務に集中できる快適なIT環境を提供します。また、携帯電話のメールから仮想PC内の情報を更新・参照できるため、PC操作が困難な外出先や作業現場から、現場の情報（撮影した写真など）を携帯電話で登録することも可能です。これにより、作業負荷の軽減だけでなく、現場作業との情報共有、重要事項の伝達漏れ防止など、業務効率の向上も実現できます。

さらに、本サービス専用のサポートデスクも用意しますので、情報システム部門を持たない企業でも安心して利用可能です。

日立情報では本サービスをシリーズ化し、様々な業種に特化させたパックを順次発売してまいります。その第一弾として、設備業・工事業向けパック「現場見え～」と、訪問介護業向けパック「訪問見え～」を、2010年1月より提供を開始します。また、自社販売に加え、地域のSMB市場に詳しいパートナー（地域のITコーディネータなど）による紹介販売も行います。既にパートナーの協力を得て、長野地区でトライアル版の提供を開始しています。

今後、日立情報ではパートナーとの連携によりSMBのITニーズを吸い上げ、サービスメニューの拡大に努めるとともに拡販を進め、2012年度（2013年3月末）までに10,000ユーザの獲得を目指します。

なお、本サービスは、2009年12月8～9日に開催予定の「SaaS World / Tokyo 2009」へ出展予定です。

<「中小企業向けクラウドサービス」のURL>

http://www.hitachijoho.com/solution/cloud/smb_industry/

<お客さまからのお問合せ先>

商品問い合わせ窓口

お問い合わせ Web フォーム：<http://www.hitachijoho.com/contact/>

<報道機関の問い合わせ先>

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 松林、杉山

TEL 03-5435-5002（ダイヤルイン） email：press@hitachijoho.com

以上

*記載されている会社名、製品名ならびにサービス名は、各社の登録商標または商標です。